

二属マレ三十九名トノ商ニ 昭和六年十二月十一日 覺書左ノ通リ
 一切ノ支拂因滿解決シタルニ付テ 井平 吳 振雄ハ 謝停者タル關係
 ニ鑑ミ 覺書金トシテ 金封封 (是千円也) ヲ 從業員ニ 寄贈申出 從業
 員トシテ 支拂タルコトヲ 承諾シタリ 石金封封ハ 昭和六年十二月
 二十九日 支拂フモノトス
 本覺書ヲ 証スル元ノ 本書ニ 通リ 作製シ 各處 通宛 保テ又
 昭和六年十二月十七日

東京建設株式會社 從業員 中岡 東金 尾 在 業 勞 働 組 合
 井平 吳 振雄

桐坂分會 代表

- 石田 忠 一 郎
- 黒澤 登
- 金田 信 長
- 青木 正 太
- 石橋 憲 一

右及申(通)報候也

本部 代表

勞組第五三三六號

昭和六年十二月十一日 警視總監 高橋 宇雄

山形 大 片 安 達 謹 藏 殿
 社 會 局 長 官 殿
 山 縣 神 奈 川 縣 知 事 殿

6. 1. 1. 2
 3341

新 家 國 轉 業 製 造 株 式 會 社 東 京 工 場 勞 働 争 議 三 關 係 行 (解 決)

昭和六年十二月十八日 覺書ニ於テ 勞働組代表ノ 覺書ニ於テ 事業主側ノ 謝意ニヨリ
 田沼 解決ス

標記 勞働争議ハ 當初 覺書 本 亦 他カ 勞働組 合 否 認ノ 態度ニ 依リ 引續
 六 渡 渡ノ 態度ヲ 持シ 居タルカ 本月 七日 工場 事務 所ニ 於ケル 勞資
 代表ノ 合見ニ 於テ 合 社 側ハ 控 束ノ 態度ヲ 一 變シテ 第一 項ノ 解 雇